

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2024 年度年間聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」
(箴言 3 章 6 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第 3・午後 2 時)
●夕の祈禱会
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準
協力牧師 堂 本 陽 子
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3111 2024 年 6 月 9 日

礼拝式順序

(聖霊降臨節第 4 主日)

司式者 井 殿 準
奏楽者 宮崎由紀子

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 113:1b~3	司 式 者
讚 美 歌	1 6 「われらの主こそは」	一 同
聖 書	ヨハネ 3:22~36 (新 P. 168)	司 式 者
使徒信条	(9 3-4-A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讚 美 歌	4 9 5 「しずけき祈りの」	一 同
説 教	「主の栄えによって」	司 式 者
祈 禱		”
讚 美 歌	3 7 9 「この世にあかし立てて」(1-4,8節)	一 同
献 金		”
主の祈り	(9 3-5-A)	”
頌 栄	2 4 「たたえよ、主の民」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0-6 「アーメン」	一 同
報 告	~「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	司 式 者
讚 美 歌	9 2 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讚美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「主を呼び求める者は誰でも」
(ローマ 10:5~17)

「主の名を呼び求める者はだれでも救われる」「主を信じる者は、だれも失望することがない」とは、何と慰め深い言葉であろう (13 節、11 節)。

ユダヤでは「人は律法を守ることによって救われる」と教えられていたが、パウロは旧約聖書を紐解きながらこれに否をつきつける。6 節以下の引用は、申命記 30 章からの引用であるが、ここでパウロは、申命記の言葉を再解釈して、『「だれが天に上るか」と言ってはならない」(→「これくらい律法を守っている人が天に上ることができる」等と、律法の行いによって自分の義を立て、天に上ることができると考えてはならない)、『「だれが底なしの淵に下るか」と言ってもならない」(→キリストは、誰一人、底なしの淵に行くことがないように十字架の上に死んでくださったのだから、「誰が地獄の底に落ちるのか?」等と、キリストの十字架を否定するようなことを言ってはならない)と述べつつ、申命記 30 章で「御言葉はあなたの近くにある」と記されているのは律法のことではなく、キリストの出来事に根ざした福音の御言葉のことなのだと言語。

人は、多少の善行を積んだからと言って、救われることはできない。キリストの死という大きな犠牲がささげられることによってこそ、人はようやく義とされる。人にできることは、その恵みを感謝して受け取ることしかないが、「すぎるだけで良い」「信じるだけで良い」とは、何と有り難い恵みだろうか。

それ故、我々は「主の名を呼び求める者はだれでも救われる」「主を信じる者は、だれも失望することがない」というこの良き知らせをいよいよ感謝して受け取り、その良い知らせに生かされ、安心して、喜んで、晴れやかに日々を生きて行こう。我々がそのような生きることが、福音の良い知らせを周囲に証しすることにもなる。昨日天に召された K さんはまさにそうやって福音の恵みを素直に受け取り、日々喜びの内に晴れやかに生きて、良い信仰の証しをしていらっしやっただが、我々も彼女に習い、福音の恵みに押し出され、晴れやかに日々を生き、良い証し人としていただこう。